

取扱説明書

WQHD対応27型ワイド液晶ディスプレイ
LCD-MCQ271ED

MANU000530

保証書は添付しておりません
修理の際には、購入日の証明(レシート・納品書など)が必要です。
大切に保存してください。

表面	●添付品を確認する ●台座を取り付ける ●つなぐ ●使う	●画面の位置・向きを調節する ●安全のために
裏面	●使用上の注意 ●困ったときには ●アフターサービス	●ハードウェア保証規定 ●液晶ディスプレイの回収・リサイクル

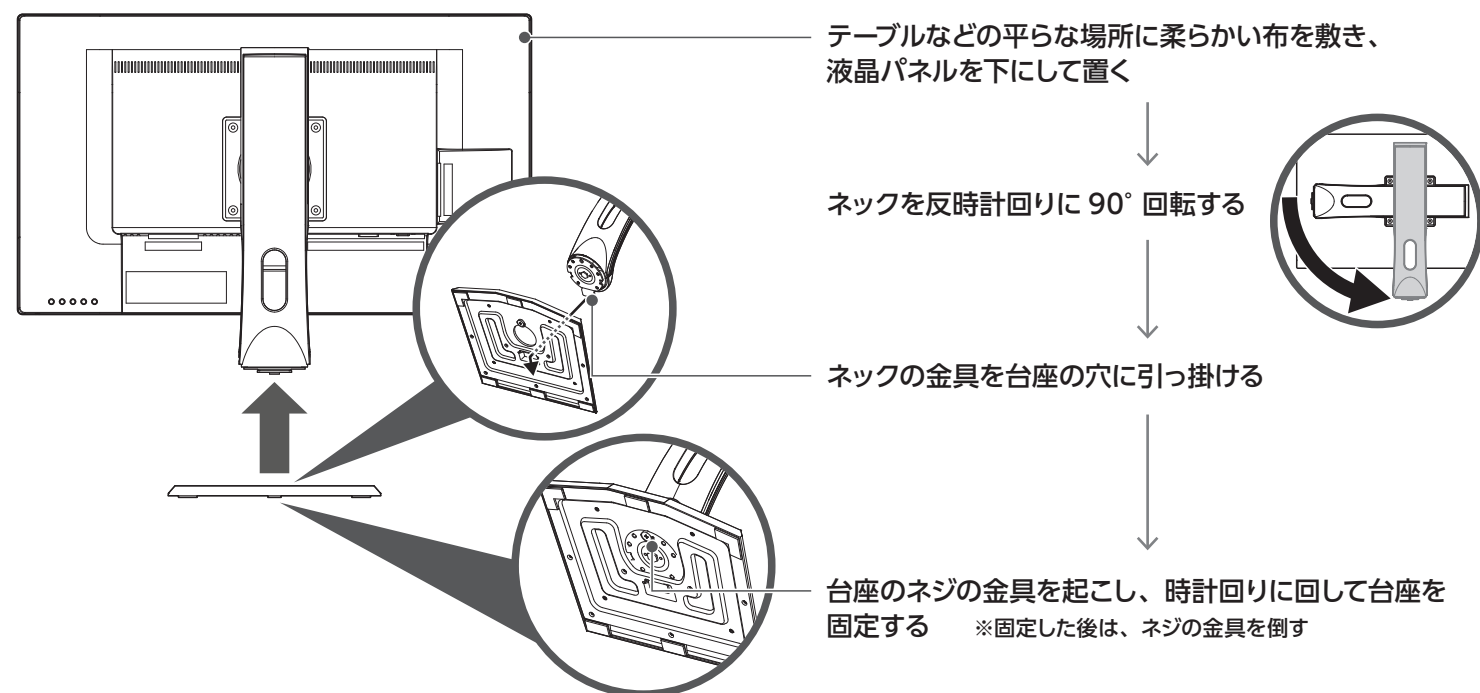
添付品を確認する

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 台座 | <input type="checkbox"/> DisplayPort ケーブル | <input type="checkbox"/> 電源コード |
| <input type="checkbox"/> DVI ケーブル
※デュアルリンクケーブル(解像度
2560x1440に対応するため) | <input type="checkbox"/> オーディオ
ケーブル | <input type="checkbox"/> USB ケーブル
[A-B USB 3.2 Gen1(USB 3.0)] |
| <input type="checkbox"/> シール(2枚:いたずら防止のため、ボタンの印字を隠せます) | | |

台座を取り付ける

取り付け時・調節時のご注意

- 液晶パネル(表示面)が故障または破損する原因になります。
- 本製品を床などに落とさない
 - 液晶パネルを傷つけない
 - 液晶パネルを手で押さえない

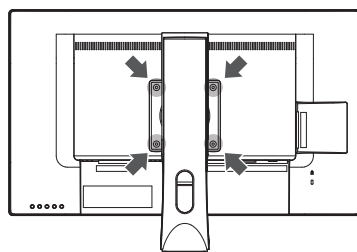


モニターアーム (VESA) に取り付け

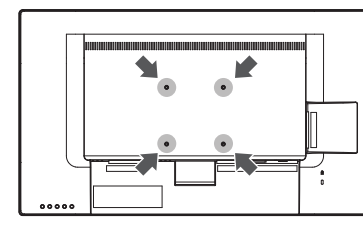
- 固定用ネジ:M4×10mm (モニターアームの金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量:約4.8Kg(ネック・台座除く)
- VESAマウントインターフェース:100mm×100mm
- 締付けトルク:0.9~1.1N・m(9~11kgf・cm)

※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

ネックを取り外す



モニターアームに取り付ける



つなぐ

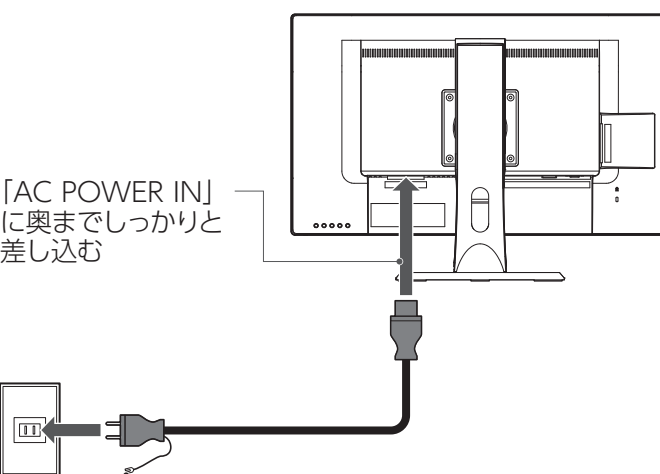
1 パソコンや映像機器とつなぐ



解像度

本製品は、最大解像度 2560x1440 (60Hz) に対応しています。

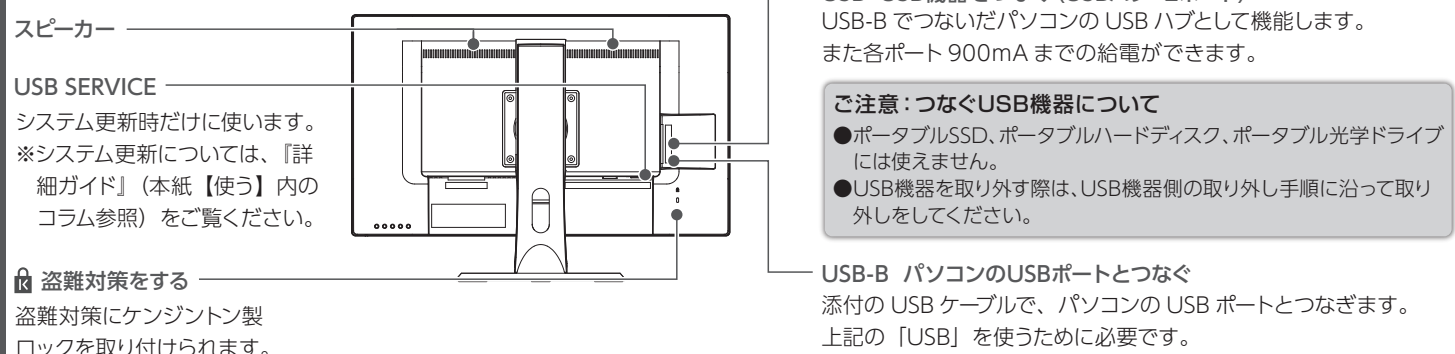
2 電源コンセントとつなぐ



ご注意: アースについては以下を守る

- 必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
- 電源プラグを抜いてから、アースを外さないと、発火・感電の原因になります。

その他の端子などについて



使う

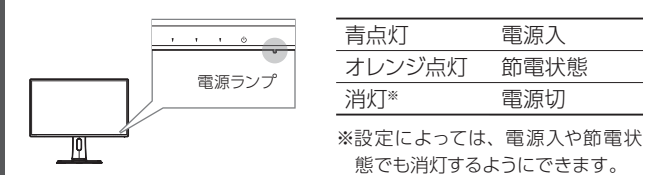
ボタンの場所

ボタンは裏側にあります。指の長さに合わせて、印刷面の裏裏より少し上にあります。

電源を入れる/切る

電源ランプを押します。

電源ランプについて



表示する映像を切り換える

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [入力切換]のボタンを押します。
- 表示する映像を入力端子名で選びます。

音量を調節する

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [音量]のボタンを押します。
- 音量を調節します。

画面の明るさ(輝度)を調節する

DICOM形式に適した画面設定を維持するため、輝度の設定はそのままでお使いいただくことを推奨します。

DICOM形式に適した画面設定

本製品ご購入時にDICOM形式に適した画面設定(DICOM)画面モード)になっています。
[DICOM]画面モードでは、DICOMに適した映像を出力するための出力、輝度、輝度ムラ補正に設定してあります。
※本製品は医療用機器ではありません。

輝度の調節方法

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [輝度]のボタンを押します。
- 輝度を調節します。

詳細な設定をする(スタートメニュー)

- ▼が付いた4つのボタンの内、どれかを押します。
- [メニュー]のボタンを押します。
⇒スタートメニューが開きます。
- [メインメニュー]を選んで、[決定]のボタンを押します。メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。
「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。
◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で「決定」のボタンを3秒間押し続けます。

メニュー操作を無効化する(メニューロック)

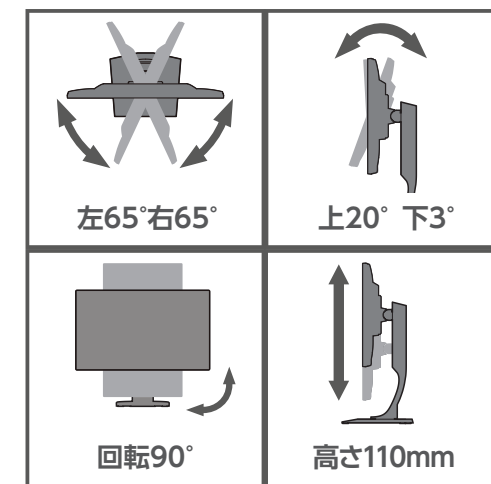
左から2番目の▼ボタンを3秒間押し続けます。解除も同様の操作でできます。

設定については、「詳細ガイド」をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_232401/



画面の位置・向きを調節する



- ケーブルは、はさんだり、引っ張ったりしないように、余裕を持って取り回してください。

- 回転する際は、以下のようにしてください。

- 本製品からすべてのケーブルを抜く
- 高さを最も高くなるように調節する
- 液晶パネルを一番上に向ける(最大まで後ろに傾ける)
- ゆっくりと時計回りに90°回す

調節時のご注意

手や指をはさまないように注意してください。

パソコンの映像を回転させる

Windows

画面回転アプリ「フルッとな」をお使いください。
<https://www.iodata.jp/lib/product/etc/4242.htm>

macOS

- [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]をクリックする。
- [回転]を設定する。
※[回転]がない場合、縦に表示できません。

メニューの表示について

本製品はセンサーで回転を感知し、メニューが自動で回転します。
※メニューが回転しない場合は、メインメニューを開いて[メニュー表示]→[回転]が[自動]に設定されているかをご確認ください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

- 警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- 注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼記号の意味

- 禁止
- 指示を守る

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間からしみ込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用の際は、特に注意する
- 水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に置かない
- 万一、本製品が冷めてしまった場合は、絶対に使わない
- 添付の電源コードは、他の機器につながらない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿度の高いもの近くで使わない
発火の原因になります。
- ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがある場合にはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。
- ケーブルは、ものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などにはしない
電源コードがよれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- ケーブルは、ものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などにはしない
電源コードがよれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。
- 液晶パネルから漏れた液体(液晶)には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体(液晶)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を仰ぐてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。
- 電源コードをものせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などにはしない
電源コードがよれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。
- 液晶パネルから漏れた液体(液晶)には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体(液晶)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を仰ぐてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

注意

- 眼鏡疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさと周辺明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないように気をつける
- 電源を入れた状態で、おお向け、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。
- 人が通行するような場所に記録しない
定を引っ掛けると、けがの原因になります。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
画面に力がかかると、破壊や故障、けがの原因となることがあります。
- 画面を先のとがった物で押さない
破壊や故障、けがの原因となることがあります。
- 吸いものでこすったり、たいたりしない
後押ししてけがの原因となることがあります。

